2025 年度

SGT　活動レポート

農業体験講座
第 4 回　棚田ツアー

7 月 5 日（土）に第 4 回農業体験講座を、静岡市の清沢にある棚田で実施しました。中学生と高校生を合わせて 23 名が参加しました。6 月 14 日(土)の第 3 回棚田ツアーが雨天のため中止となったため、ご指導いただく清沢塾の塾生の方々とも 1 ヶ月ぶりの再開となります。天気予報によると、曇りのち晴れで最高気温が 33 度になるとの予報が出されていたため熱中症に注意しての作業となりましたが、午前中は曇っていたため順調に作業を進めることができました。

今回は、田の草取りとあぜの草刈りです。生徒たちは中学生中心のグループと高校生中心のグループに分かれてまず田の草取りをしました。5 月に植えた苗が 30cm 程に成長し、青々とした葉がすくすくと伸びているのが分かります。稲が育つのに合わせて田の草や緑藻も育っています。中学生を中心としたグループは、田んぼの中に広がった緑色の藻を長い柄のついた熊手を使い取ります。晴天が続いていたため光合成によってよく育った藻は、放置しておくとあっという間に田を覆い尽くし稲に必要な栄養や水分を奪ってしまいます。合わせて田の中に生えた草をとっていきます。稲を踏まないようにゆっくり慎重に入りながら草を熊手でからめ捕っていきます。合わせてあぜの雑草も鎌を使って刈り取りました。高校生は、中学生に比べると手際よく刈り取っていきます。膝が隠れるほど長く大きくなった草もきれいに刈り取っていきます。

一方で、男子高校生 2 名が昼食時の味噌汁を清沢塾婦人部の方のご指導のもと作りました。ジャガイモ、人参、白菜など野菜がたっぷり入った味噌汁です。毎回、清沢塾の方々にはボランティアで作っていただいている味噌汁ですが、今回は生徒の手で美味しく作ることができました。

お昼ご飯を食べたあと、午後の作業です。太陽が雲の合間から顔を出し気温も上がり暑くなってきました。のどが渇く前に水分補給をすることを心がけ一名も熱中症にならないようにゆっくり作業を進めます。午前中と同じ作業が続きますが、高校生が中心となったグループが担当する田んぼはあっと言う間に藻が取り除き、草も抜き取られていきます。頼もしいかぎりです。

半夏生の白い花が棚田の周りに咲き誇り、青空とのコントラストが見事にマッチして美しい田舎の田園を写し出しています。この花が咲く終わる頃までに田植えを終えるのが昔ながらの慣習だそうです。農薬を一切使わない自然のもつ本来の力のみに頼った農法は、収穫量こそ劇的に向上することはないものの美味しいお米がとれます。米農家の苦労を考えると、米価が安くなることはありがたいことではありませんが、米作りに直接関わってみると、まじめな米農家ほどいかにもうからないかというからくりが透けて見えるような気がします。とはいえ、寛政年間に作られたこの棚田もいつまでも維持して欲しいという気持ちも湧いてきます。

次回の第 5 回棚田ツアーは、8 月 30 日(土)です。天候と気温が気になるところですが、8 月も田の草取りとあぜの草刈りです。次回はさらに稲が成長していることでしょう。楽しみですね。

本日の作業について、説明を聞きます。今回は田の草取りとあぜの草刈りです。

高校生中心のグループと中学生中心のグループに分かれ、それぞれ田に入ります。

高校生の男子 2 名が清沢塾婦人部の方のご指導のもと味噌汁を作ってくれます。

半夏生の白い花が咲き誇り、夏の日差しに照らされて美しく際立っています。

あぜに生えていた草も次々に刈り取られていきます。きれいになりますね。

高校生は、田の中に入り、手を使って直接草を抜いていきます。

あぜもこんなにきれいになりました。8 月にはまた草が伸びていることでしょう。

稲の成育を阻害する緑藻を長い柄の付いた熊手で取っています。